

番 号
令和8年 6月5日

佐賀県県民協働課長 様

住 所 〒841-0072 佐賀県鳥栖市村田町307-68
団 体 名 NPO法人MBFC
代表者職・氏名 理事長 弓削田 健介
電 話 番 号 090-9600-1823

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による
寄附金活用実績報告書

令和7年度において、当団体に交付された佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して別紙のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱第21条第1項の規定により提出します。

令和7年度 佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による寄附金活用実績報告書

- 1 団 体 名 : NPO法人MBFC
- 2 事業実施期間 : 令和7年4月1日 から 令和8年3月31日
- 3 事業の背景（※事業計画書から転記）

■事業の実施により実現したい佐賀県の地域像

これまで行ってきた「子どもミュージカル制作」を、県民全年齢層が参加できる「県民ミュージカル」にバージョンアップさせていきたい。「ミュージカル県SAGAプロジェクト」と名付けたプロジェクトは、県内の様々な方々と手をつなぎ、4年目を迎えた。伊万里小学校コーラス部などの全国的にも知名度のある県内の団体も、ミュージカルや合唱を取り入れはじめ、マスコミにも取材されるなど、「表現力」「発信力」の向上が進んでいる。「都道府県魅力度ランキング」で毎年最下位を争う佐賀県だが、潜在的な魅力は数多ある。気球や海苔などのテーマソングを子どもたちと発信していき、「佐賀はなんもなか」ではなく「佐賀は最高ばい」と言える県民を増やす。加えて本年度は、令和6年元日に発生した能登半島地震という社会的背景もあった。音楽や映像を通じて佐賀から被災地へエールを届けることも、子どもたちの表現力・発信力を社会につなげる新たな機会となった。

4 事業の成果

①県民の便益にどのようにつながったのか

関わらせていただいている子どもたち（伊万里小学校コーラス部やティーンズミュージカルSAGAなど）がメディアに取り上げられる機会が増えました。取り上げられるテーマも「地域の魅力を届ける」「佐賀から発信する」など、ふるさとに誇りを持つ子どもたちの育成に携わることができました。本年度は、佐賀を代表する児童合唱団である伊万里小学校コーラス部の皆さんと、能登半島地震の被災者の方々へ向けて歌のプレゼントを行いました。子どもたちが赤い折り鶴を折ってフェニックスに見立て、復興・復活を願う「フェニックス」の歌を映像にして届ける取り組みは、地元・佐賀新聞に取り上げられ、佐賀の子どもたちが活躍する姿を多くの県民に知ってもらうことができました。遠い能登に思いを馳せ「何かできることはないか」と感じていた県内の様々な方々にも、子どもたちの笑顔と歌声が届きました。文化芸術を通じて、県民が誇りや温かさ、人とのつながりを感じられる便益につながったと考えています。これからも複数の文化芸術団体と共に音楽や文化の発信をすることで、子どもたちや指導者の方々のモチベーションアップ・団体の維持、佐賀からの文化発信のお手伝いができるように努めてまいります。

②佐賀から広がった社会像（該当する活動のみ）

お手伝いをさせていただいている伊万里市立伊万里小学校コーラス部は、本年度もNHK全国学校音楽コンクール九州・沖縄ブロック大会で賞を獲得しました。オンラインでつながった全国の合唱団と佐賀県のミュージカル団体・合唱団が交流することで、音楽を通じた新しいつながりが広がっています。「ミュージカル県SAGAプロジェクト」には他県からの問い合わせも増え、福井県美浜町からは、佐賀の県民参加型ミュージカルづくりのスタイルを街づくりに活かしたいと相談があり、町民ミュージカルの立ち上げに助言をし、現地でのアドバイスなどを行いました。そして、2026年3月には第1回目の公演が行われました。さらに本年度は、能登半島地震の被災地へ向けたフェニックスの合唱企画に、同じ佐賀県のやまびこ合唱団など大人の団体も参加し、世代を越えて「佐賀から能登へエールを送る」取り組みへと広がりました。NPOとしては、その映像制作の費用をふるさと寄附金から支出するとともに、メンバーが撮影や編集に携わるなど、お金では計れない部分でも活動を支えました。理事長の弓削田健介は、完成した映像を携えて能登半島を訪れ、被災者に寄り添うコンサートを開催しました。佐賀から始まった文化・音楽の発信が、被災地への支援や他県のまちづくりにまでつながり、佐賀発の新しい社会像として広がっています。

5 寄 附 金 活 用 事 業 実 績 ： （別記1）

6 次 年 度 繰 越 額 活 用 見 込 み ： （別記2）

7 寄 附 金 活 用 額 ： （別記3）

(別記1) 寄附金活用事業実績

○寄附金を活用して行った事業（GCFを行った場合は、GCF名とその内容を記載）

事業名	具体的な事業内容 ①目的②対象者③実施内容	①実施日時 ②実施場所	事業費の 支出金額 [単位：円]	うち寄附金 活用額 [単位：円]
表現教育を促進する映像教材の創作事業	①子どもたちの表現力向上 ②伊万里小学校・多久ミュージカルカンパニー・ティーンズミュージカルSAGA ③合唱曲・ミュージカルのビデオを制作する	①5月、8月、11月 ②多久市、伊万里市、佐賀市	18,423,181	18,423,181
計			18,423,181	18,423,181

(別記2) 次年度繰越活用見込み

○次年度に繰り越した寄附金の活用見込み

事業名	具体的な事業内容 (予定) ①目的②対象者③実施内容	①実施日時 ②実施場所 (見込み)	事業費の 支出見込み額 [単位:円]	うち寄附金 活用見込み額 [単位:円]
表現教育を促進する映像教材の創作事業(合唱動画制作事業)	①子どもたちの表現力向上 ②伊万里小学校・多久ミュージカルカンパニー・ティーンズミュージカルSAGA ③合唱曲・ミュージカルのビデオを制作する	①令和7年8月、12月 ②多久市、伊万里市、佐賀市	10,000,000	965,223
計			10,000,000	965,223

(別記3) 寄附金活用額

【収入】佐賀県ふるさと寄附金収入額 … ① (= A + B)		29,803,764
(内訳)	本年度の佐賀県ふるさと寄附金収入額 … A	29,793,350
	本年度交付を受けた佐賀県ふるさと寄附金分	29,793,350
	前年度控除額（県事務経費）還付分	0
	前年度収入済の佐賀県ふるさと寄附金繰越額 … B	10,414

【支出】佐賀県ふるさと寄附金活用額… ② (=a+b)		28,838,541
(内訳)	事業に活用した寄附金額 … a	18,423,181
	ふるさと納税の募集に要した費用の額 … b	10,415,360
	返礼品等の調達に係る費用	8,742,860
	返礼品等の送付に係る費用	1,455,300
	広報に係る費用	0
	事務に係る費用	217,200

佐賀県ふるさと寄附金の次年度繰越額 … ③ (=①-②)	965,223
-------------------------------------	----------------

■直近の収支報告書掲載箇所(ホームページURL等)

<https://www.mbfc.or.jp/profile>